倫　　理

（解答番号 1 ～ 33 ）

第１問　以下のⅠ・Ⅱを読み，後の問い（問１～８）に答えよ。なお，会話と問いの**A**と**B**は，各々全て同じ人物である。（配点　24）

Ⅰ　次の会話は，高校生**A**とそのいとこの大学生**B**が交わしたものである。

A：昔の思想家って，本当に色んなこと思い付きますよね。みんな天才だっていうのはよく分かるけど，色々ありすぎて，とても覚えきれないですよ。

B：おつかれさま。それじゃあ，バラバラに暗記するんじゃなくて，思想の流れを理解するようにしたらどうかな。天才って言われる人たちも，ゼロから思想を生み出したというより，ⓐ先人の考え方を継承しつつ，批判したり再解釈することで，自分の思想を確立したっていうパターンが多いみたいだよ。

A：え，そうなんですか。例えば？

B：例えば，ⓑ儒教の思想家たちはみんな孔子の思想を継承しているよね。

A：なるほど，それはそうか。でもじゃあ，最初の孔子は？

B：孔子もやっぱり，昔の思想を参考にしてるんだよ。そして，儒教の仁や礼の思想へのⓒ批判から，また別の思想が生まれてゆくんだよね。

A：本当だ，教科書にも「○○は××を引き継いで」とか「△△を批判して」みたいな文章，たくさんありますね。読み飛ばしてたな…。これ，宗教の思想家にも当てはまりますか？

B：例えばゴータマ・ブッダは，既存の宗教のⓓ生命観や理想を受け継ぎながらも，それに飽き足らず，自らの道を求めたと言えるんじゃないかな。

問 1　下線部ⓐに関して，次の**ア**～**ウ**はギリシア哲学が他の文化圏に継承された事例の説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 1

ア　プラトンの哲学は，後に神秘主義と結び付いた形で継承されたが，その影響を受けた教父と呼ばれる人々が，キリスト教の神学を整え，教義を確立していった。

イ　イスラーム世界に，ギリシア哲学の学問的成果が数多く流入し，これが盛んに研究されたことにより，イスラーム文化に活発な議論の場が生じ，これが後にシーア派とスンナ派の分離を生む論争の舞台となった。

ウ　トマス・アクィナスは，イスラーム世界を経由してヨーロッパに伝えられたアリストテレスの哲学を継承して，理性とキリスト教の信仰との調和を図り，体系的に説明しようと試みた。

① **ア**　正　　**イ**　正　　**ウ**　正
② **ア**　正　　**イ**　正　　**ウ**　誤
③ **ア**　正　　**イ**　誤　　**ウ**　正
④ **ア**　正　　**イ**　誤　　**ウ**　誤
⑤ **ア**　誤　　**イ**　正　　**ウ**　正
⑥ **ア**　誤　　**イ**　正　　**ウ**　誤
⑦ **ア**　誤　　**イ**　誤　　**ウ**　正
⑧ **ア**　誤　　**イ**　誤　　**ウ**　誤

問 2　下線部ⓑに関して，次の**ア**～**ウ**は，儒教およびそれに関連する思想についての説明である。**ア**～**ウ**から適当なものを全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。 2

ア　孔子は周公旦(周公)が行ったとされる礼による政治を理想としつつ，仁と礼を関連付けて，克己復礼の思想を説いた。

イ　孟子は孔子の教えの中でも特に礼を重視し，礼による社会秩序を理想としつつ，その礼を人は生まれつき備えているという性善説を説いた。

ウ　荀子の下で学んだ韓非子は，内面の道徳性ではなく法律を重視し，褒賞と刑罰で人々を統御する政治を説いて，法家思想を大成した。

① **ア**　② **イ**　③ **ウ**
④ **ア**と**イ**　⑤ **ア**と**ウ**　⑥ **イ**と**ウ**
⑦ **ア**と**イ**と**ウ**

問 3　下線部ⓒに関して，先行する思想を批判した古代思想家についての記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 3

① 墨子は，儒教の家族愛的な仁を，身内に偏った別愛であると批判し，全ての他者を区別なく愛し，利害の対立をなくす兼愛を説いた。

② アリストテレスは，師プラトンの真理探究の姿勢を引き継ぎながらも，彼のイデア論を，経験的現実を重視する立場から批判した。

③ バラモン教の身分制度を批判したブッダは，人だけでなくあらゆる生き物への暴力と無益な殺生をも否定し，慈悲を説いた。

④ プラトン哲学を批判的に継承したアウグスティヌスは，「地上の国」は隣人愛に基づく一方，「神の国」は神への愛に基づいて成立すると説明した。

問 4　下線部ⓓに関して，**B**は**A**に，中国伝統思想に親しんでいる者からの質問に，中国の仏教徒・牟子(ぼうし)が答える次の**資料**を見せ，後の会話を交わした。会話中の［ **a** ］～［ **c** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。［ 4 ］

資料　牟子『理惑論(りわくろん)』より

質問者：仏教では，人は死ぬと必ずまた生まれ変わると言っていますが，僕にはそんなことが本当だとは信じられません。

牟子　：人が死ぬと，家族の者が屋根に上って呼びかけるが，死んでしまったのに一体誰に向かって呼びかけるのかな？

質問者：魂(たましい)に呼びかけるのです。……

牟子　：その通り。魂はもとより不滅である。ただ肉体が腐敗するだけだ。例えてみれば，肉体は五穀(ごこく)の根と葉，魂は種もみのようなもの。根と葉は生えても必ず枯れるが，種もみには終わりがない。

B：**資料**の「生まれ変わる」というのはインドの［ **a** ］の生命観のことなんだけど，これは当初中国では理解されづらかったらしい。そこで牟子は，［ **b** ］という中国の考え方に似たものだと説明してるんだ。

A：諸法無我というから，仏教はバラモン教が重視した［ **c** ］の追求を避けると思ってたけど，牟子は積極的に［ **c** ］を説いてるように見えるな。

B：そうだね，仏教は中国文化との対話の中で新たな展開をしてゆくんだ。

①	**a**	輪　廻	**b**	死後も魂は存在し続ける	**c**	アートマン
②	**a**	輪　廻	**b**	死後も魂は存在し続ける	**c**	ブラフマン
③	**a**	輪　廻	**b**	生前の行為が死後に実を結ぶ	**c**	アートマン
④	**a**	輪　廻	**b**	生前の行為が死後に実を結ぶ	**c**	ブラフマン
⑤	**a**	業	**b**	死後も魂は存在し続ける	**c**	アートマン
⑥	**a**	業	**b**	死後も魂は存在し続ける	**c**	ブラフマン
⑦	**a**	業	**b**	生前の行為が死後に実を結ぶ	**c**	アートマン
⑧	**a**	業	**b**	生前の行為が死後に実を結ぶ	**c**	ブラフマン

Ⅱ　次の会話は，**A**と**B**が交わした 44 ページの会話の続きである。

A：さっきの，批判して再解釈するって話ですけど，ⓔユダヤ教とキリスト教とⓕイスラームって，教科書に続けて書いてありますよね。その関係も同じように考えると分かりやすいですね。

B：そうだね，歴史の流れの中に位置付けると理解しやすいね。ただし，それは一つの見方にすぎないということも覚えておいてほしいな。

A：他の見方もあるってことですか？

B：それぞれの信仰の立場から見れば違うよ。例えばユダヤ教徒は自分たちの聖書を「旧約」とは呼ばないし，ムスリムはクルアーンを聖書の再解釈ではなく，神の言葉をそのまま記したものと考えているわけだから。

A：なるほど…。そういえば，今日レポートの課題が出たんですけど，まずはテーマに関する本を読んで，先人の議論を理解した上で自分なりに批判や意見を述べるように，って言われたんです。さっきの，ⓖ受け継ぐ，批判するって話となんだか似てますね。

B：その通りだと思う。その意味では，私たちが今やっている勉強やレポート執筆なんかも，古代から思想家たちが行ってきた営みの延長線上にあるんだと思うよ。

問 5　下線部ⓔに関して，ユダヤ教をめぐるイエスの言動についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 5

① イエスは「私が来たのは律法や預言者を廃止するためだと思ってはならない。廃止するためではなく，完成するためである」と語って，弟子たちに新たな律法を作るよう命じた。

② イエスは「心を尽くして……あなたの神である主を愛しなさい」という律法を最も重要なものと考え，信仰を個人の内面的な活動と位置付け，洗礼などの実践を否定した。

③ イエスは「神の国は近づいた」と告げたが，それはイスラエル人がメシアの到来とともに期待していた栄光の国ではなく，律法を批判する勇気がある者だけが到達できる境地だと考えた。

④ イエスは「隣人を自分のように愛しなさい」という律法を重んじつつ，さらに「敵を愛し，自分を迫害する者のために祈りなさい」と述べて，分け隔てない愛の原理を説いた。

問 6　下線部ⓕに関して，ムハンマドについてのイスラームの考え方として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 6

① ムハンマドは，自らに言葉を伝えた神(アッラー)を唯一にして並ぶものなき存在とし，ユダヤ教やキリスト教で信仰される神の上位に置いた。

② ムハンマドは，ユダヤ教のモーセらやキリスト教のイエスに続く預言者であるが，特に最終的な啓示を受けた最後の預言者である。

③ ムハンマドは，自らが神から受けた啓示に従って，ユダヤ教やキリスト教といった一神教の排他性を批判し，多神教との融和を図った。

④ ムハンマドは，キリスト教におけるイエスと同様に神の子としてその御業(みわざ)を代行したが，その一つがシャリーア(イスラーム法)の制定である。

問 7　下線部ⓖに関して，**A**は授業中に，ギリシアの自然哲学者たちの主張に関する次の**資料**を示され，説明を受けた。その説明を**A**がまとめた後の**ノート**中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る語句の組合せとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［ 7 ］

資料　アリストテレス『自然学』より

自然哲学者たちは，無限なるものには，その元になるもの（アルケー）はなく，むしろそれがその他のものの元になっていて，万物を包摂し，万物を統べていると考えている。……そして彼らは，それが神的なものであるとも考えている。アナクシマンドロスをはじめ自然哲学者たちの大多数の主張によれば，それは不死にして不滅だというのだから。

ノート

ギリシアの自然哲学者たちは，この世界の全体について筋道立った説明を行おうとして，物事全般のアルケーを探求した。例えば水や火，無限なるものなどが，アルケーとして想定されたそうだ。彼らは，この世に起こる自然現象について［ **a** ］にかなった説明を与えようとしたと言われている。ただし，この**資料**の不死などの言葉に見られるように，実は初期のギリシア哲学者たちの思考のあり方は，［ **b** ］とも結び付いていた。

① **a**　ノモス　　**b**　神観念に基づいた自然観
② **a**　ノモス　　**b**　観察と経験に基づいた自然観
③ **a**　ロゴス　　**b**　神観念に基づいた自然観
④ **a**　ロゴス　　**b**　観察と経験に基づいた自然観
⑤ **a**　ミュトス　　**b**　神観念に基づいた自然観
⑥ **a**　ミュトス　　**b**　観察と経験に基づいた自然観

問 8　後日，**A**と**B**は勉強会を開き，次の**資料 1 ・ 2** をめぐって後の会話を交わした。48 ページの会話も踏まえて，会話中の［ **a** ］～［ **c** ］に入る文をそれぞれ次ページの(**ア・イ**)(**ウ・エ**)(**オ・カ**)から選んだ場合，それらの組合せとして最も適当なものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。［ 8 ］

資料 1　『スッタニパータ』より

世の中にある種々様々な苦しみは，執着を縁として生起する。およそ無知な者だけが執着を作る。愚か者は繰り返し苦しみに近づく。だから，(それを)知って，苦しみの生ずる源を観察した人は，執着を作ってはならない。

資料 2　竜樹(ナーガールジュナ)『中論』より

「行為」を縁として「行為者」は起こり，その「行為者」を縁として「行為」は起こる。これ以外に両者が成立する根拠を，我々は見出さない。

A：この前話したレポートのテーマに，仏教を選んだんです。そこで，大学で詳しく学んでる**B**のアドバイスが欲しくて。教科書には「竜樹はブッダの縁起の思想を論理的に展開した」とあるけど，どう展開したんですか？

B：まず，ブッダの説いた縁起について確認しよう。**資料 1** の意味は分かる？

A：教科書見ながらでいいですか。えーと，ブッダが，［ **a** ］ということ？

B：その通り！　では竜樹はそれをどう展開したか。**資料 2** を見てみよう。

A：これも縁起の話なんですか？　よく分からない…どういうことですか？

B：歩いている人を「歩行者」と呼ぶよね。この場合，「歩く」が行為で，「歩行者」が行為者だ。普通はまず人がいて，その人が「歩く」と考えるけど，竜樹によれば，人は「歩き」始めた瞬間に「歩行者」になるのだから，「歩く」と「歩行者」は互いを原因として同時に成立するというんだ。

A：なるほど。確かに言葉の上でだけなら，そうですね。

B：まさにそう！　この時成立するのは「歩く」とか「歩行者」を指す言葉，つまり名称と，それらの言葉で表される概念だけで，そこに実体は生じないと竜樹は言うんだ。

A：名称と概念は分かったけど，実体って，何ですか？

B：そのものに固有の，変わらない本性のこと。だから生じたり消滅したりするものには，実体がないことになる。このように竜樹は，［ **b** ］と論じて，縁起を同時的な相互依存関係として捉え直したんだね。

A：うーん，なるほど。

B：これで，［ **c** ］が分かったんじゃないかな。竜樹に限らず，こうやって「縁起とは何か，突き詰めるとどういうことか」って考えた人たちがいたから，縁起の思想が次第に深まっていったわけだね。

A：それをこうやって勉強していくと，以前**B**が言ってた通り，確かに自分もその継承と研究のつながりの延長線上にいるような気がしてきますね。

［ **a** ］に入る文

ア　苦しみの生じる原因は，苦しみを観察して執着するためであるとし，知と観察を手放して苦を離れるべきことを説いた

イ　苦しみには原因があり，原因を滅すれば苦しみから解放されると説いて，因果関係に基づいた実践を教えた

［ **b** ］に入る文

ウ　我々が名称・概念をもって認識しているあらゆる事物は，相互に依存し合って成立しており，かつ，それらは実体を欠いている

エ　我々が認識していると思っているものは，事物の名称・概念に過ぎず，その実体は，我々の感覚世界を超えたところに存在する

［ **c** ］に入る文

オ　ブッダの説いた縁起の思想は誤りを含む素朴なものだったが，継承されてゆく過程で修正と解釈が加えられ，次第に完成されていったこと

カ　しばしばブッダが完成したかのように説明される縁起の思想にも，継承されてゆく過程で新たな解釈が加えられ，発展が見られること

①	a	ア	b	ウ	c	オ
②	a	ア	b	ウ	c	カ
③	a	ア	b	エ	c	オ
④	a	ア	b	エ	c	カ
⑤	a	イ	b	ウ	c	オ
⑥	a	イ	b	ウ	c	カ
⑦	a	イ	b	エ	c	オ
⑧	a	イ	b	エ	c	カ

倫　理

第 2 問　以下の**Ⅰ**～**Ⅲ**を読み，後の問い(**問 1** ～ **8**)に答えよ。なお会話と問いの**C**と祖母は各々全て同じ人物である。(配点　24)

Ⅰ　次の会話は，高校生**C**と祖母が，「日本人と平和」と題した市民向けの講演に参加した帰り道で交わした会話である。

祖母：「平和」にあたる日本語には，他にも「泰平」，「安穏」，「無事」などがあって，戦争がない状態だけではなく，疫病や災害がなく人々が穏やかに暮らす様子を全般的に指しているという指摘があったね。

C　：そうだね。でも戦争の話は，昔のことや外国の話題だったから，ピンとこなかったな。それより，ⓐ古代の神々と災害の関係は倫理の授業でも扱っていたから，聞いていて面白く感じたよ。

祖母：そうなんだね。確かに，感染症の話は身近だったし，『古事記』の話も面白かったね。他にはどんなところに興味を持った？

C　：奈良時代は，ⓑ仏教に対して疫病などの災いを鎮めるという役割が求められたということかな。宗教にそうした役割を求めるというのは現代でも見られるからね。

祖母：そうだね。そういえば，災害や疫病が起きる中で，心の平安を保つことは簡単ではない，ということが大きく取り上げられていたね。

C　：講演でも紹介されていたけど，ⓒ『方丈記』や『徒然草』をはじめとした無常観の思想も，災害に向き合う中で生まれてきた思想と言えそうだね。

祖母：良いところに気付いたね。でもね，戦争のことにももっと関心を持ってほしいな。あなたのひいおじいさんだって戦争に行ってね。

C　：大事な問題とは分かっているのだけど，どうも自分に関係があることとしては考えられないかな。まあでも，おばあちゃんが言うなら，自分なりに戦争と平和について調べてみようかな。

祖母：それは素晴らしいことだね。私も，高校生だった時に読んで感銘を受けた本があるので，後で本棚から探して持っていくね。

問 1　下線部ⓐに関して，日本の神々と災害についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 9

① 古代の日本では，祖先の霊は子孫を災厄から守る存在として祀(まつ)られており，折口信夫は村落を離れないそうした祖先の霊を「まれびと」と呼んだ。

② 古代の日本では，恨みを残した死者の霊の存在が災害を起こすと信じられたため，死者の霊の祓いを執り行った。

③ 古代の日本では，作物の豊穣(ほうじょう)などの恵みだけではなく，自然の脅威でさえも，神意のあらわれと考えられた。

④ 古代の日本では，儒教や仏教などの外来の教えを排除することで神観念が形成され，そうした神によって災害から守られると考えられた。

問 2　下線部ⓑに関連して，次の**ア**～**ウ**は，古代日本の仏教についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 10

ア　聖武天皇の時代の仏教は，国家を安泰にする役割を期待され，阿弥陀仏の他力救済によって民衆を救済しようとした。

イ　唐で仏教を学んだ空海は，鎮護国家を掲げ，山岳における修行を重視し，修行者がこの身のまま仏になることを目指した。

ウ　源信は，念仏を称えることのみが，穢(けが)れた現実世界から離れて極楽浄土に往生できる方法であると主張した。

①	ア 正	イ 正	ウ 正		②	ア 正	イ 正	ウ 誤
③	ア 正	イ 誤	ウ 正		④	ア 正	イ 誤	ウ 誤
⑤	ア 誤	イ 正	ウ 正		⑥	ア 誤	イ 正	ウ 誤
⑦	ア 誤	イ 誤	ウ 正		⑧	ア 誤	イ 誤	ウ 誤

問 3　下線部ⓒに関して，無常観の説明と次の**資料 1 ・ 2** の内容の説明として，最も適当なものを，次ページの①～⑤のうちから一つ選べ。 11

資料 1　鴨長明『方丈記』より

ああ，この世界は心の持ち方一つだ。心が安らかでなかったら，象や馬や珍しい財宝があっても意味がないし，宮殿楼閣があっても，希望は持てない。今，一間(ひとま)の寂(さび)しい庵(いおり)に住んでいるが，ここは自分で気に入っていて住んでいるのだ。……たとえば魚や鳥の生き様を見るがよい。魚は一生，水の中にいて，水の中が飽きたとは言わない。魚でなければ，その気持ちは分からない。鳥はいつでも林の中にいたがるが，鳥でなければ，その気持ちは分からない。閑居のおもむきも，それと同じだ。住んでもみずに誰が分かろう。

資料 2　吉田兼好『徒然草』より

どんな事でも頼みにすることはできない。愚かな人は，深く物事を頼みにするために，恨み怒ることが出てくる。権勢があるからといっても頼みにすることはできない。強いものは壊れやすいものだ。財宝が多いといっても頼みにはできない。あっという間に失ってしまうからだ。……自分も他人も頼みにしなければ，うまくいった時に喜んだり，うまくいかなかった時に恨んだりすることはない。……人間は天地のなかで最も優れた存在である。天地は限定されることのない広い存在である。人間の本性もこの天地の本性とどうして異なることがあろうか。本性がゆったりとのびやかで限定されることがなければ，喜びも怒りも本性にとって障害とはならずに，また外界の事物のために心を煩わされることもない。

① 無常観は，若々しく衰えることのない人間のあり方を追求する考え方である。**資料 1** では，世事に惑わされることなく，心の安らかさを求めることが大切であると書かれ，**資料 2** では，権力や地位は一時のものであると書かれている。

② 無常観は，全てのものは移り変わっていくとする考え方である。**資料 1** では，人間も他の生物と同じくはかない存在であるので，鳥や魚の生命を大切にするべきだと書かれ，**資料 2** では，心の寛大さが天地のあり方になぞらえられて書かれている。

③ 無常観は，物事の消滅や流転を必然とする考え方である。**資料 1** では，他人から気に入られなければどんな家でも満足できないと書かれ，**資料 2** では，それほど多くなくとも財産や地位があれば心を煩わされずに生きていけると書かれている。

④ 無常観は，世の中は常に変化していくとする考え方である。**資料 1** では，自分の今の境地はなかなか他人には理解されにくいものであると書かれ，**資料 2** では，元来はのびやかである本性に従えば，世間の出来事に心を煩わされないと書かれている。

⑤ 無常観は，自然や人生のむなしさと向かいあう考え方である。**資料 1** では，わびしい粗末な家でも自分が気に入っていればよいと書かれ，**資料 2** では，人間は優れた存在であるので天地と関係なく自由に生きていくことができると書かれている。

Ⅱ　市民向けの講演を聞いた後で，**C**は近くの図書館に行ったところ，江戸時代の平和について論じた本を紹介された。**C**はその本を読み，以下のように**ノート**にまとめた。

> **ノート**　江戸時代の平和について
>
> 江戸時代では「泰平(太平)」と呼ばれる平和な時代が続き，ⓓ生まれつきの身分を固定的なものとみなす思想が社会や身分制度を支えた。また大きな内戦や対外戦争がない状況の下で，国内では産業や商業が発達した。江戸時代中期になると，従来は蔑視されていたⓔ営利活動を肯定する思想も現れた。しかし幕末になると経済や政治が不安定になっていき，尊王攘夷論が多くの志士たちに影響を与えた。幕末には国内外で様々な問題が起こる中，ⓕ横井小楠などの思想家が活躍した。

問 4　下線部ⓓに関連して，江戸時代の儒教についての説明として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 12

① 儒教では，君臣関係のみならず親子関係や夫婦関係にも定まった理があり，その理を具体化したものが礼儀であると説かれ，身分秩序にのっとった生き方が求められた。

② 儒教の思想に基づき政治を担った武士たちは，人々が現実の社会・政治体制を天理とみなして，私利私欲を慎み，幕藩体制の下でそれぞれの役割を果たすことを求めた。

③ 朱子学者のなかには，日本の伝統的な神観念を，朱子学で説かれる理と同一視して，神道と朱子学の一致を説く者も現れ，またそこで説かれた尊王論は幕末の志士たちに影響を与えた。

④ 古学派のなかには，朱子学で説かれる理の考え方に依拠して，自己や他者を欺くことのない心のあり方である誠を重視し，人倫世界の充実を主張する者も現れた。

問 5　下線部ⓔに関して，次のア～エは，営利活動を肯定した思想家である石田梅岩についての説明である。ア～エから適当なものを全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑨のうちから一つ選べ。 13

ア　民衆を武士が支配する社会を批判し，その支配を儒教や仏教が正当化していると主張した。

イ　士農工商の身分の違いはあるけれども，それぞれが家業に勤め，社会に貢献しているという意味では同様に尊いと述べた。

ウ　商業においては，自分の利益だけではなく，相手の利益も考えて，公正な商売をするべきであると説いた。

エ　経済政策に通じ，藩の財政再建などに手腕を発揮した一方で，合理主義的な立場から無鬼論を唱えた。

① アとイ
② アとエ
③ イとウ
④ ウとエ
⑤ アとイとウ
⑥ アとイとエ
⑦ アとウとエ
⑧ イとウとエ
⑨ アとイとウとエ

問 6　下線部ⓕに関して，次の**資料**は，明治政府で活躍した井上毅（いのうえこわし）が，若き日に横井小楠と対話した内容を筆記したものである。横井小楠の思想と**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 14

資料　『沼山対話（しょうざんたいわ）』より

（井上毅からの問い）

開国後の道筋として，海軍を興して世界に進出していくやり方があります。もう一つは，人類はみな兄弟であるという考え方から，胸襟を開き，諸外国と貿易をするというやり方です。

（横井小楠からの答え）

軍事力を使って世界に進出するというのはそもそも「公共の天理」に反しています。日本が世界に参入していくということは，「公共の天理」に従って，現在世界で起こっている紛争を解決して見せるという気概がないといけません。むやみに軍事力にまかせて国威を張るつもりであれば，後の日本に災いを及ぼします。

① かつて自らのよりどころにしていた儒教を時代遅れのものとして批判し，西洋の平等思想を受容した横井小楠は，**資料**において，軍事力を増強し国力を高める日本のあり方を「公共の天理」に反すると論じている。

② 古代中国の先王や聖人たちの道を理想としつつ，西洋文化の摂取も説いた横井小楠は，**資料**において，国内での政治的対立を収束させるために，「公共の天理」に基づくことを主張している。

③ 天皇を尊崇し外国を排斥する思想を唱えた横井小楠は，**資料**において，紛争を解決するために，軍事を国家の最優先事項に置くことが「公共の天理」に基づくあり方だと述べている。

④ 堯（尭）・舜が行ったような理想的政治を追求した横井小楠は，**資料**において，世界の様々な紛争を，日本が覇権的な武力の行使によらない仕方で解決することが，「公共の天理」に基づくあり方だと示している。

Ⅲ　図書館での調べ学習から帰宅した後，**C**は祖母から一冊の本を贈られた。その本には次の**メッセージ**が添えられていた。

> **メッセージ**
>
> **C**が平和についていろいろ調べていると聞き，私もうれしいです。ⓖ先人たちが平和をどのように考えたのかを知ることはとても大事ですね。この本は私が高校生の時の愛読書です。時代を超えて，今に通じる重要な考えが詰まっていると思います。ぜひ一度読んでみてね。

問 7　下線部ⓖに関連して，平和を説いた近現代の思想家の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 15

① 小日本主義を掲げた石橋湛山は，軍備の拡張や植民地の拡大を目指す日本のあり方を大日本主義として批判して，平和を守って経済的な発展を目指す方針を説いた。

② 丸山真男は，主体性を備えた近代的自我を日本人が明治維新とともに確立していたと論じ，二度の世界大戦を経験する中で，世界的な潮流に抗うことはできずに，国家がファシズムに陥ったと分析した。

③ 幸徳秋水は，自由民権運動の影響を受けて，戦争が起こる原因を，国民が戦争を望んで反対を唱えないことにあると述べて，政府ではなく国民一人一人に戦争の責任があると主張した。

④ 妊娠・出産期において女性は国の財政支援により保護されるべきだと主張した与謝野晶子は，戦地に赴いた弟の身を思って「君死にたまふことなかれ」と詠んだ。

問 8　祖母から贈られた本には，第二次世界大戦での体験に基づいた著者の考えが書かれていた。次の**資料**は**C**によるその本の抜粋である。**資料**の内容に関する説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 16

資料　吉野源三郎『人間の尊さを守ろう』より

戦争は，一億一心の協力を要求しながら，逆に国民どうしの人間らしい連帯をズタズタに断ち切ってしまい，あげくのはて，敗戦後の，あのひどい窮乏の中に国民をなげこんだのでした。……これが，いわゆる戦後に私たちがおかれていた状況でした。政治的，経済的に日本が崩壊しただけではなく，精神的にも大きな崩壊がおこなわれていたのです。……人間相手の私たちの行動は，その一つ一つが，自分の中にある「人間への信頼」をテストされているようなものであり，自分自身が実験にかけられているようなものでした。……「人間を信頼するか，どうか。」「人間を愛するか，どうか。」という問題は，矛盾した可能性を同時に持っているこの人間，その可能性の中から自由な意志で何かを選びとらねばならないこの人間，そして，現実からどんな選択を迫られても逃げることのできないこの人間，それをそのまま信頼するか，愛するか，という問題なのでした。……「そうだ，信頼する。」と答えるか，「いや，できない。」と答えるかは，理由や証明にもとづいての帰結ではなくて，私の決意による選択の問題なのです。

① 人間は本来，平和を望む存在であるが，戦争は起こってしまった。他国との信頼関係を作るために，不断の外交努力が必要となる。

② 戦争は人々が一丸となることを求めたが，かえって人々の結び付きは崩壊した。人間を愛し，信頼することへの決意が求められている。

③ 一度築かれた人々の間の信頼関係は決して揺らぐことはない。政治や経済の混乱があろうとも，他者を信じ抜く態度が重要である。

④ 他者が信頼に値するかどうかを検証した上で，他者への態度を決定する必要がある。人間観を根底から見直し，平和を構築すべきである。

倫　理

第３問　以下のⅠ・Ⅱを読み，後の問い（問１～８）に答えよ。なお，会話と問いの**D**，**E**，**F**は各々全て同じ人物である。（配点　24）

Ⅰ　次の会話は，ある日の授業の後に高校生**D**，**E**，**F**が交わしたものである。

D：今日の倫理の授業はいつもと随分違っていたね。ⓐルネサンス期の絵画を見て，その中で何が起きているか考えるって，美術の時間みたいだった。

E：でも倫理っぽいとも思ったよ。考えたことだけじゃなくて，なぜそう考えたかもみんなと話し合ったから，頭を一杯使ったし，緊張したなあ。

F：それにしても，同じ絵なのに，注目するところもどう感じるかも，人によって違うのは面白かったな。

E：そういえば，教科書の中で，ⓑ宗教改革の思想を扱ったところに，ルターの肖像画があるじゃない？　厳格そうな雰囲気がして私は苦手なんだけど，誠実さが伝わってきて清々（すがすが）しいという友達もいて驚いたな。でも，倫理の問題と違って，芸術は結局，人それぞれの好みで楽しむものなのに，話し合うことに意味があるのかな？　それに，感動ってそもそも言葉で表しにくいものじゃない？　説明を求めるのは無理があるよ。

F：確かにそういう面もあるだろうけど，他の人が何にⓒ美を感じるのかを知ることで視野が広がるということもあると思うよ。

D：視野を広げるのは大事だと思うけど，話し合うのがいい方法なのかな。芸術の専門家に正しい見方を教えてもらう方が，偏りがないと思う。ⓓ時代を超えて受け継がれた名作ってあるよね？　正しい見方が分かれば，そういう古典の良さも分かるはずだし，それが成長することじゃないかな。

E：この作品がいいと教わったから私もそれがいいと思う，というのはなんだか自分の気持ちに嘘（うそ）をついているみたいだ。それに芸術作品について，これが正しい見方だと決めつけてしまうと，逆に視野が狭くならないかな。

F：専門家に学ぶのは大事だけど，専門家自身，決まった正しい見方を知っているというより，日々知識を深めながら，自分とは異なる考え方も吟味して，よりよい見方を目指しているんじゃないかな。

問 1　下線部ⓐに関して，次の**資料**は，**D**がルネサンス期の芸術についてタブレットで調べて見付けたインターネット上の記述である。この記述に含まれる説明のうち**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 17

資料

①ルネサンスは「再生」を意味し，北イタリアから始まった文化の改革運動であり，ギリシア・ローマの文化に学び人間性の回復を試みた。ルネサンスは，いわば新しい人間のあり方を求めたのだ。②ルネサンス期の典型的な絵画に，生き生きとした描写を特徴とするボッティチェリの「春」がある。③ルネサンスの文芸では，ダンテの『神曲』に見られるように，人間の自然な感情や欲求を肯定する新しい人間観を提示した。また，④ルネサンスの芸術は，経済力を蓄えた市民の下に成立し，ラファエロの「アテネの学堂」に見られるように，神の恩寵や栄光に基づく美しさを表現した。

問 2　下線部ⓑに関して，宗教改革の影響についての説明として適当な記述を次の**ア**～**ウ**のうちから全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 18

ア　ウェーバーは，対抗宗教改革の中で創設されたイエズス会の厳格な規律が，近代ヨーロッパの資本主義を成立させたと論じた。

イ　世俗の職業を神聖視するカルヴァンの思想は，新興の商工業者らに支持されて西ヨーロッパに広まり，イギリスではピューリタニズムを生んだ。

ウ　職業を神から与えられた使命とみなす職業召命観が元となって，様々な領域で自身の能力を全面的に発揮する「職業人」という理想が広まった。

① ア　② イ　③ ウ　④ アとイ　⑤ アとウ　⑥ イとウ

問 3　下線部Ⓒに関連して，**F**と先生**T**は次の会話を交わした。カントの思想と後の**資料**についての説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 19

F：カントによれば，人間は道徳法則の命令に無条件に従うべきなのですね。美しさについても無条件の法則があると考えているのでしょうか？

T：いい質問ですね。カントは，道徳の判断も美の判断も，普遍的な立場から行われるべきだと述べていますが，美の場合は，普遍的な法則を根拠にするのとは異なる判断の仕方を求めています。彼は美を判断する能力のあり方を「共通感覚」と呼び，この**資料**のように説明しています。

資料　『判断力批判』より

私たちが共通感覚を働かせるためには，自分の判断を，他者の実際の判断と照合するというよりも，むしろ，ただ他者が行う可能性のある判断と照合し，私たち自身の判断にたまたま付きまとっている制約をただ取り除くことによって，他のあらゆる人の立場に身を置かなければならない。

F：なるほど。カントの要求を満たすのは簡単ではなさそうですね…。

① 認識能力の範囲と限界を問う批判哲学を唱えたカントは，**資料**によれば，他人なら美しさをどう判断するか，その可能性を考慮せよと求めた。

② ルソーによって「独断のまどろみ」から目覚めたと語ったカントは，**資料**によれば，美について自己の限定された視点を乗り越えるよう求めた。

③ 感性と悟性の協働により認識が成立するとしたカントは，**資料**によれば，美について自己が行う判断を，他者が行った判断と照合すべきだとした。

④ 「物自体は認識に従う」というコペルニクス的転回を唱えたカントは，**資料**によれば，人は自分の個性に即した独自の美の基準を持つべきだとした。

問 4　下線部㋑に関連して，次の**資料**は，時代を隔てた過去の作品との向き合い方について，文学作品を事例として論じた文章である。**資料**の内容と合致する記述として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 20

資料　ヒューム「趣味の基準について」より

私たちは読書するときに，私たち自身の時代や国に見られるものに似た場面や性質の方を，私たちとは異なる習慣を描いているものよりも好む。古代の風習の簡素さと折り合いをつけて，王女が泉から水汲(く)みをしたり，王や英雄が自分自身の食事の支度をしたりするのを私たちが理解するのは簡単ではない。……上に述べた，独特だが無害な風習は，もちろん許容されるべきで，それにショックを受ける人の上品さは明らかに間違っている。……だが，道徳や良識についての考え方がある時代から別の時代へと変化する場合に，いまでは不道徳な風習が，過去の作品の中できちんと非難されずに描かれているなら，これは詩を損なう真の醜さであると認めねばならない。……何人かの古代詩人(ときにはホメロスやギリシア悲劇の詩人たちさえ含まれる)によって描かれた人物たちに目立つ，人間性や良識の欠如は，彼らの高尚な作品の価値を著しく減じている。

① 私たちになじみのない習慣の描写を含むような作品であれば，私たちに違和感を抱かせることになるため，その作品の価値は損なわれる。

② 私たちは，過去の作品の価値を適切に評価するために，作品が作られた当時の道徳や良識についての観念を受け入れて自らのものにすべきである。

③ 私たちにとって道徳的に問題のある行為が作品で描かれている場合，その行為が作品の中で非難されていなければ，作品の欠点にはならない。

④ 作品の中で非難されずに描写された行為が，私たちの時代ではもはや道徳的に許容されないなら，その描写は作品自体の価値を損なう。

Ⅱ　64 ページの会話の後，次の倫理の授業で以下の**資料**が配付され，**D**，**E**，**F** はその**資料**について話し合った。

> **資料**　ルソー『人間不平等起源論』より
>
> 人は様々な対象を眺めて比較することに慣れる。知らず知らずのうちに，長所と美についての観念を獲得し，これが選(え)り好みの感情を生み出す。……人々は小屋の前や大木の周りに集まることに慣れた。……各人は他人に注目し，自分自身も注目されたいと思い始め，こうして［ **a** ］が価値あるものとなった。最も上手く歌ったり踊ったりする者，最も美しい者，最も強い者，最も器用な者，あるいは最も雄弁な者が，最も尊敬される者となった。そしてこれが不平等への，また同時に悪徳への第一歩であった。この最初の選り好みから，一方で虚栄と軽蔑とが，他方で恥辱と羨望とが生まれた。

E：自然状態では［ **b** ］と他者への思いやりに導かれていた人間が，［ **c** ］を通じて自由と平等を失ったというルソーの説は知っていたけど，**資料**によると，彼は［ **a** ］によって生じた不平等のことも考えたんだね。

D：こういう不平等は身近にもあるよね。美しさでいえば，私の容姿やファッションが他の人にどう見られているかを気にして，喜んだり落ち込んだりすることがあるし，私も他人を外見で判断してしまうことがある。

F：他人と自分を比べるうちに妬みの感情に陥ってしまいそう。ニーチェの言うⓔルサンチマンとも関係あるのかな。

E：すると，そもそも人の美しさを評価すること自体，やめた方がいいんだろうか。こうあるべき，という基準を押し付けることになるから。

F：良さを感じたり憧れたりすること自体は否定しなくてもいいんじゃない？それぞれの人のⓕ個性を美しさとして捉えられるように，多様な見方を身に付けるようになれるといいと思うんだ。

D：人の外見よりも，内面に注目してはどうだろう。人の生き方に共感したり，憧れたりすることが，本当の意味で美しさを感じることかもね。

問 5　68 ページの**資料**と会話中の［ **a** ］～［ **c** ］に入る語句の組合せとして最も適当なものを，次の①～⑧のうちから一つ選べ。［ 21 ］

① **a** 一般意志　**b** 自己愛　**c** 土地の所有
② **a** 一般意志　**b** 神への愛　**c** 土地の所有
③ **a** 一般意志　**b** 自己愛　**c** 共和国の設立
④ **a** 一般意志　**b** 神への愛　**c** 共和国の設立
⑤ **a** 世間の評判　**b** 自己愛　**c** 土地の所有
⑥ **a** 世間の評判　**b** 神への愛　**c** 土地の所有
⑦ **a** 世間の評判　**b** 自己愛　**c** 共和国の設立
⑧ **a** 世間の評判　**b** 神への愛　**c** 共和国の設立

問 6　下線部ⓔに関して，ルサンチマンに基づいているとニーチェが批判した思想の例として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 22 ］

① 自らの欲望に従うのは自分勝手で道徳的に許されないから，自己を顧みず他者のために奉仕し，人類愛に生きるべきである。
② 世界には本来善も悪もないのであって，既存の規範にとらわれず新たな価値を創造することが必要である。
③ 近代の進展につれて伝統的な信仰が衰え，人間は最高の価値を失ったが，その状況を耐え抜くことが必要である。
④ 自己の生をありのままに引き受け，積極的に肯定する運命愛の立場に立つことによって，人々は超人を目指すべきである。

問 7　下線部ⓕに関連して，個性について論じた思想家としてJ. S. ミルが挙げられる。次の**ア**～**ウ**は，彼の思想についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 23

ア　快楽の間に質的な違いを認める立場に立ち，肉体的な快楽と精神的な快楽のどちらも経験した人ならば，快楽の量に関わらず精神的な快楽の方を選び取ると主張して，ベンサムの量的な功利主義を修正した。

イ　判断能力のある大人の行う決定であれば，それがたとえ本人の身体や財産にとって有害な結果をもたらすことが明らかであるとしても，利他的な動機に基づくものである限り，容認されるべきであると主張した。

ウ　今日の民主主義社会において多数派である大衆が形成する世論は，個人が自らの個性的な生き方を追求することを要求するあまり，他者への無関心を助長しているとして，多様な意見を持つ者の間の議論の意義を唱えた。

① **ア**　正　　**イ**　正　　**ウ**　誤
② **ア**　正　　**イ**　誤　　**ウ**　正
③ **ア**　正　　**イ**　誤　　**ウ**　誤
④ **ア**　誤　　**イ**　正　　**ウ**　正
⑤ **ア**　誤　　**イ**　正　　**ウ**　誤
⑥ **ア**　誤　　**イ**　誤　　**ウ**　正

問 8　次のノートは，**F**が 68 ページの授業の後に書いたものである。64 ページと 68 ページの会話も踏まえて，ノート中の［ **a** ］に入るものとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 24 ］

ノート

今回の授業で，人の美しさを考えるときに，内面に注目する，という**D**の提案にははっとさせられた。それとともに，多様な見方を身に付ける，という私の考えがむしろ裏付けられているとも思った。自身の価値観や好みにこだわっていては，自分と違う人生を生きている相手を理解できないのではないか。

その前の回の授業で，絵画について話し合ったときも，作品をよく理解しようとすることはもちろんだけど，そうする中で，鑑賞している私たちのことも語って，お互いを理解し合おうとしていたと思う。「美しい」とか「きれいだ」とか，確かに私たちは同じ言葉を使っているけれど，どんな意味で使っているのかは人によって違うし，はっきり定義して使っているわけでもない。だから，**E**が感動を説明するのは無理があると言ったのも理解できる。でもだからこそ，［ **a** ］ことが，相手のことも自身のことも，よく知る手立てになるのだと思う。

① 芸術作品をめぐる対話では様々な見方が示されるとしても，自分の感覚を信じて，相手の考えに惑わされることなく自分の意見を語る

② 自分がどう感じたかを語りつつ，その根拠として芸術作品の特徴をなるべく具体的に挙げることによって，相手から同意を引き出す

③ 芸術作品の正しい見方を身に付けようとする者同士が，専門家の語った言葉を模範として，互いに作品について語り合うことで，切磋琢磨する

④ 芸術作品について話し合う中で，手探りでお互いの言葉の使い方を確かめながら，感じ方が違う部分と，共通している部分とを見付けていく

倫　理

第４問　高校生**G**と**H**が交わした次の会話を読み，後の問い(**問１～８**)に答えよ。なお，会話と問いの**G**と**H**は，各々全て同じ人物である。(配点　28)

G：語学を勉強しておきなさいとか，新聞を読む習慣をつけなさいとか，よく言われるよね。私の親はそういう説教をしたあと，「後悔しないように」って付け加えるんだ。思いやりで言っているのは分かっているけど，後悔することに対してやたら否定的な感じがして，少し引っ掛かるんだよね。

H：そう？　ⓐ後悔するのは苦しいことだから，避けられるものなら避けた方がいいと考えるのは自然じゃないかな。後悔しないで済むように賢く行動しなさいっていうⓑ家族や先生の注意がプレッシャーになるのも分かるけど。

G：後悔しないようにする慎重さが大切だってことには賛成なんだよね。実際，私は高校受験のとき，ネットでⓒ情報を集めて志望校を決めたけど，それも後悔を避けるためだった気もする。でもだからといって，後悔は未熟な人間がするもので，しない方がいいもの，と決めつけるのには違和感があるんだ。

H：違和感かあ。私はあまり感じないかな。後悔って自分の未熟さとか不完全さを感じて辛くなることじゃない？　ⓓ後悔の苦しみが人の成長を助けることはあっても，後悔自体をポジティブに捉えるのは難しいかなあ。

G：うーん。でも，自分が深く後悔していることについて，ⓔ周りの人から「後悔しても仕方がないから，次のことを考えなよ」とか「あなたのせいじゃないんだから，もう気にしない方がいいよ」とかと言われてⓕ歯がゆい思いをすることもあるでしょ？　後悔を否定すると，後悔している人にとって大事な何かを無視することになってしまう気がするんだよね。

H：なるほど。でも，そういう助言をしたくなる気持ちは理解できるけどなあ。特に，その人の将来のためになる後悔じゃないなら，意味がない気もするし。

G：それも分かるけど，本当は後悔には大事なものが隠されていて，「自分ではどうしようもないことを後悔しても意味がない」という考え方をするとそれを取りこぼしてしまうんじゃないかとも思うんだ。

問 1　下線部ⓐのように考えていたHは，Gとの会話を受けて，考えを整理するために次のメモを書き出した。メモ中の［ a ］・［ b ］に入る記述として最も適当なものを後のア～エから選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 25 ］

メモ

Gの言う「後悔に隠された大事なもの」とは何なのだろうか。これまで多くの人が国際平和を実現するための活動に尽力してきたけど，そうした努力を支えたのも後悔を避けたいという動機なのかもしれない。授業でも習ったように，第二次世界大戦の経験を踏まえて，フランクルは，［ a ］し，ヴァイツゼッカーは，［ b ］。後悔したくないという思いがあるから，真剣に未来のことを考えることができる部分もあるのだろう。

でも，Gは，「成長の糧にならない後悔は無意味だ」という見方を取ると，重要な何かが取りこぼされると言っていた。どうしてそんな考え方をするのだろう。自分ではどうにもならないことまで後悔してしまうのはなぜかを考えてみればいいのかな。

ア　人生が私たちに何を期待しているかを重視して，どのような状況でも未来への希望を持って生き抜くよう努力することの意義を説いた

イ　貧困や人権侵害を人間の生存と尊厳に対する脅威と捉え，あらゆる人々をそれらの脅威から守ることを目指して，人間の安全保障を説いた

ウ　過去の非人道的行為をなかったことにできないとしても，人々が過去を心に刻まねば，現在の問題から目を背ける危険性が高まると訴えた

エ　人生における最大の苦痛は人から必要とされないことであると説き，恵まれない人々を救済するために「死を待つ人の家」を創設した

① a ―ア　b ―ウ　　② a ―ア　b ―エ
③ a ―イ　b ―ウ　　④ a ―イ　b ―エ

問 2　下線部ⓑに関連して，現代日本における，家族機能の変化や世帯構造の変容についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

26

① 高齢者のケアに従事する人材の不足が老老介護などの形で顕在化したのを受け，介護保険制度が開始されたが，この制度は高齢者の自立支援の考えが盛り込まれていないといった問題を抱えている。

② 子育てに掛かる経済的負担が少子化の原因の一つであるが，経済的支援だけではなく，ワーク・ライフ・バランスの改善により仕事と子育てを両立しやすい環境を整備するといった対策も必要である。

③ 人口維持の数値上の目安として参照される合計特殊出生率が 1960 年代のある年に一時急激に低下し，その年以来，回復することがなかった。これを受けて政府は様々な少子化対策に乗り出すこととなった。

④ 家族や地域社会の変容により，血縁や地縁に基づく結び付きが希薄になった。この状況を受けて，強制力がなく，加入脱退が自由で多重参加が可能な関係性の創出を説く，ノーマライゼーションの考え方も登場した。

問 3　下線部Ⓒに関して，次の文章中の下線部**ア**～**ウ**は，現代の情報技術についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 27

情報化の進展に伴い，ア<u>モノの生産が中心だったユビキタス社会を越えて，情報産業中心の脱工業化社会が到来した</u>。この社会では，情報の真偽を批判的に吟味する能力が従来以上に要求される。イ<u>ブーアスティンは，メディアが作り出す本当らしい出来事を疑似イベントと呼んだ</u>が，彼によれば，イメージを通じて感覚に訴えかけるテレビの登場により，人々は情報に正確さよりも物語性を求めるようになった。その後，ウ<u>双方向的なコミュニケーションを特色とする，ソーシャル・メディアも発達してきた</u>。今日，人々が本当らしさに踊らされる危険性はさらに増していると言える。

① ア 正　イ 正　ウ 正
② ア 正　イ 正　ウ 誤
③ ア 正　イ 誤　ウ 正
④ ア 正　イ 誤　ウ 誤
⑤ ア 誤　イ 正　ウ 正
⑥ ア 誤　イ 正　ウ 誤
⑦ ア 誤　イ 誤　ウ 正
⑧ ア 誤　イ 誤　ウ 誤

倫　理

問 4　下線部④に関して，次の**資料**と後の**表**は，グループでの意思決定に後悔が与える影響を検討した実験の結果である。**資料**と**表**を踏まえて，次ページの**考察**の［ **a** ］～［ **c** ］に入る記述として最も適当なものをそれぞれ次ページの(**ア・イ**)(**ウ・エ**)(**オ・カ**)から選んだ場合，それらの組合せとして正しいものを，次ページの①～⑧のうちから一つ選べ。［ 28 ］

資料

実験参加者は 3 人一組のグループを作り，次の意思決定課題を行った。

半数のグループは，ある人物が余計な行動をしたために景品をもらえず後悔する話を読み(後悔群)，残り半数のグループは，ある人物が行動の内容にかかわらず景品をもらえなかった話を読んだ(非後悔群)。

続いて，仮想レースのチーム監督役が割り当てられ，レースに出場するか出場を中止するか，各グループで決定することを求められた。レース当日のコンディションは，事故の危険性が高いものに設定されており，中止が正しい選択であった。ただし，事故のリスクを測るために必要な情報の一部は，参加者にはあらかじめ伝えられていなかった。そのため，参加者は正しい選択をするために，どんな情報が必要なのか自分たちで考え，その上で，実験者に追加の情報を開示するよう求めなければならなかった。

後悔群と非後悔群のそれぞれで，要求した情報の平均件数，必要な情報を要求したグループの割合，および出場中止を決定したグループの割合は**表**のとおりであった。

表　各群の情報の平均件数と必要な情報の要求割合，および出場中止決定の割合

	要求した情報の平均件数	必要な情報を要求したグループの割合	出場中止を決定したグループの割合
後悔群	2.97 件	44.7 %	39.5 %
非後悔群	2.86 件	18.2 %	15.2 %

(資料)　Kray, L. J. & Galinsky, A. D., *Organizational Behavior and Human Decision Processes*, 91, 2003 より作成。

考察

表によれば，この意思決定課題において，［ **a** ］。また，出場中止を決定したグループの割合は，後悔群の方が非後悔群よりも高いことが示された。後悔に関するエピソードを読むことで，人は［ **b** ］決定をする確率が高くなったと考えられる。以上のことは，私たちの物事の決定の仕方は，［ **c** ］からも影響を受けると考える根拠になるだろう。

［ **a** ］に入る記述

ア　後悔群では，全てのグループで，実験者に要求した情報の 4 割以上が必要な情報であったが，非後悔群では 2 割以下であった

イ　実験者に要求した情報の数は両群で同程度であったが，必要な情報を要求したグループの割合は，後悔群の方が非後悔群よりも高かった

［ **b** ］に入る記述

ウ　慎重な判断に基づいて情報を集めるようになり，その結果，正しい

エ　慎重になるあまり，必要な情報を選べなくなり，その結果，誤った

［ **c** ］に入る記述

オ　自分の直面している状況と同様の状況での後悔の話を知ること

カ　自分の直面している状況と直接関係ない状況での後悔の話を知ること

①	a ― ア	b ― ウ	c ― オ	②	a ― ア	b ― ウ	c ― カ
③	a ― ア	b ― エ	c ― オ	④	a ― ア	b ― エ	c ― カ
⑤	a ― イ	b ― ウ	c ― オ	⑥	a ― イ	b ― ウ	c ― カ
⑦	a ― イ	b ― エ	c ― オ	⑧	a ― イ	b ― エ	c ― カ

問 5　下線部ⓔに関連して，次の**ア・イ**は，他者と関わり合うことの影響について考察した人物の説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 29

ア　青年期の発達課題として「成熟した関係を他者と結ぶ」，「社会的責任を自覚した行動をとる」，「職業選択や結婚生活への準備をする」などを挙げた。

イ　自己の視点と他者の視点の区別がつかない乳幼児期の状態から離れて，様々な視点から物事を捉えられるようになることを，脱中心化と呼んだ。

① **ア**　クーリー　　**イ**　ハヴィガースト
② **ア**　クーリー　　**イ**　ピアジェ
③ **ア**　ハヴィガースト　　**イ**　クーリー
④ **ア**　ハヴィガースト　　**イ**　ピアジェ
⑤ **ア**　ピアジェ　　**イ**　クーリー
⑥ **ア**　ピアジェ　　**イ**　ハヴィガースト

問 6　下線部ⓕに関連して，次の**ア**～**ウ**は，青年期に経験される心理状態についての用語の説明である。**ア**～**ウ**から適当なものを全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。 30

ア　小説を読んだ際などに，主人公と自分自身を重ねて，現在の自分の問題が解決されたように思い満足するのは，同一視である。

イ　部活動や勉強で自分の思いどおりにならないときに，緊張が高まり，心の安定が脅かされることを，フラストレーションに陥るという。

ウ　「自分とは何者か」が分からなくなり，毎日が空虚に感じられ，将来の展望が持てず，精神的な危機に陥ることは，逃避と呼ばれる。

① **ア**　② **イ**　③ **ウ**　④ **アとイ**
⑤ **アとウ**　⑥ **イとウ**　⑦ **アとイとウ**

問 7　72 ページの会話の後，**H**は**G**に勉強会を開くことを提案した。次の**資料**は哲学者 J. ラズが後悔について述べたものであり，**H**が配付した。**資料**について**G**と**H**が交わした後の会話を読み，次ページの(1)・(2)に答えよ。

資料　「世界のうちにあること(Being in the World)」

後悔は苦しい。それは後悔が，自分の存在についてのものであるからだ。つまり，何かの折に「私はどのような人物であるか」あるいは「私はどのような人物であったか」が露(あら)わになってしまって，それが後悔につながるのだ。ある望ましからぬ人物が存在しているからではなく，まさにこの私が望ましからぬ人物であるからこそ，後悔は苦しいものになる。……私たちは自分の行いによって，自分がなりたくなかったような人物になってしまったことを後悔する。……行為の成否というものは，人のコントロールを超えた要素に左右されるものであるのだが……私がしたことや私にできなかったことは，私が誰であるのかを露わにする。そして，それとしばしば表裏一体に，私をその誰かにするのである。

G：「世界のうちにあること」って，ⓖハイデガーを意識しているのかな。

H：人間とは，いわれなく投げ込まれている世界の内において，様々な道具や他者と関わりながら自分自身のあり方を気遣う世界内存在だ，と説いた思想家だよね。後悔もそうした人間のあり方と関係しているのかな。

G：事故を起こしてしまって，自分には過失がなくても被害を出したことを後悔している人もいるよね。事故を起こしたことで，自分が何者なのかが決まってしまうと考えれば，後悔という反応を示すのも理解できるな。

H：事故を回避できるような存在ではなかったと分かって，それが苦しいのか…。でも，事故なら，自分にはどうしようもなかったと割り切ることもできるよね。周りも「あなたのせいじゃない」と言うんじゃないかな。

G：そう簡単に割り切れなくて，「私が別のことをしていれば…」と思わずにいられない。自己の存在ってそういうものなんじゃないかな。

⑴　下線部ⓖに関して，ハイデガーの思想についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 31

① 存在の意味を問うことを重視し，後年には，一切のものを技術的に意のままになる対象と捉える人間のあり方を存在忘却として批判した。

② 人間とは，自己の本質を自由につくりあげ，その自由から生じる人類への責任を自覚して社会の創造に関わらざるを得ない存在である，と説いた。

③ 「死への存在」であるという自覚に基づいて自己の本来的なあり方へ目を向けるようになった人間のあり方を，世人（ダス・マン）と呼んだ。

④ 世界の内にあることの不安に襲われて，日常性という基盤を見失った人間のあり方を，故郷の喪失と呼んだ。

⑵　**資料**の内容の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 32

① そもそも行為というものには，私たちにはコントロールできない要素が多分に含まれている。そのため，私が何かを成し遂げたとしても，そのことによって私がどのような人物であるかに変化がもたらされることはない。

② 私がどのような存在であるかは，私に何ができなかったのかによっても決まる。だから，自分の意のままにならない要素によって行為が失敗した場合でも，私は自分の望まない存在になり得るし，それゆえに後悔する。

③ 私がどのような存在であるかは，私が何をしたかによっても決まる。行為は，そもそも私が行為をする以前にどのような存在であったのかを明らかにするものでもあるが，私はそれによって後悔することはない。

④ 私が苦しい思いを抱えるのは，この世界に望ましからぬ人物が存在するという事実に対してである。私自身が自分のなりたくなかった存在になってしまった，というような個人的な問題について後悔するわけではない。

問 8　次の会話は，79 ページの会話の続きである。72 ページの会話も踏まえて，次の会話中の［ **a** ］に入る記述として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 33 ］

H：そんなに割り切れないものかな？　それって，**G**がはじめに言っていた，後悔に隠された大事なものと関係があるの？

G：私たちは世界のただなかで世界に働きかける存在でしょう？　なのに，私たちは不完全だから，思いどおりになることなんてそんなに多くない。自分にはどうしようもないような悲劇に遭遇したときなんかは，「自分は何もできない存在だから」と言いたくなってしまう。でも，それって本当は，世界に働きかける自己であることを自分で否定することだ。そうした否定をしないあり方が後悔じゃないかな。［ **a** ］なんだと思う。

H：悪い出来事を，私が招いたこと，私が防げなかったこととみなす限り，人は後悔の苦しみを抱え続けることになる。けど，それは世界と切り離さずに自己を捉えようとしている証拠だ，ってこと？

G：そう思う。確かに，私たちが後悔するのは，私たちが不完全だからだ。でも，後悔するということは，私たちが，より良い世界があり得たということを自分の問題として捉えずにはいられない存在で，その上で自分についても「もっと良くあり得た」と思える存在だということでもあるんじゃないかな。後悔できるということは，この意味で大事なんだと思う。

① 後悔は，自己の無力さを正面から受け止めることで，悪い出来事を招いたのは自分ではないと確信し，苦悩から逃れる試みの一部

② 悪い出来事を自分が招いたこととして理解するからこそ，後悔するわけだから，後悔は苦しみをバネにして自分を成長させる試みの一部

③ 後悔は，私の存在と切り離さずに悪い出来事を受け止め，世界の中で自己のあり方を決める自己であり続けようとする試みの一部

④ 「世界の中にある自己」として，悲劇が生じるような世界を嘆くことが後悔なのだから，後悔は現実の世界から自分を独立させる試みの一部